

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID: 2023004294

事業名:山口県萩市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営と車両整備(2年目)

団体名:特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク

代表者名:代表 児玉頼幸

TEL:090-8065-1481

事業完了日:2024年3月31日

■契約時

事業費総額	:	11,990,000 円
自己負担額	:	1,090,000 円
助成金額	:	10,900,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	12,062,218 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,162,218 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	10,900,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

山口県萩市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営
(1)期間:2023年4月~2024年3月(週4~5日、13時から19時まで開所)
(2)場所:山口県萩市
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に20名
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。送迎用車両を整備し、保護者による送迎が難しい子どもも支援する。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

(1)期間:2023年4月から2024年3月まで、毎週5日 火曜~金曜11時から19時まで、土曜10時から19時まで、開所
(2)場所:山口県萩市
(3)対象:コミュニティモデルとして広く利用を呼び掛けるとともに、萩市担当課との連携して、ひとり親家庭などに呼び掛け、課題を抱えた小中学生などが利用した。1日平均15人
(4)内容:学生ボランティアなどによる子どもとの関係づくりを行い、生活や学ぶ意欲の向上など支援に努めた。

(3)成功したこととその要因

市内の大学の学生がボランティアたちが、子どもたちの居場所としての、毎週、水曜夕方の中学生向け学習会(食事付き)、土曜午前の小学生向け学習会(食事付き)や、毎月1回のこども食堂、様々な体験メニューを通じて、いつも積極的な関わりを持ち、多くの子どもたちに親しく接することで関係づくりを行い、子どもたちが安心して利用するなど、利用促進を図った。

(4)失敗したこととその要因

当初の計画では、「送迎用車両を整備し、保護者による送迎が難しい子どもも支援する」としていたが、半導体不足などの原因で納車が大幅に遅れてしまい、年度末になったため、今年度は送迎ができなかった。

(5)事業内容詳細

毎週、火曜から土曜まで週5日開館し、特に水曜夕方が主に中学生向け学習会(食事付き)、土曜午前が小学生向け学習会(食事付き)は学生ボランティアがサポートして、宿題や試験勉強などを行った。中でも中学3年生4人は公立高校や高専に合格、進学した。毎月1回、こども食堂を開催しており、コロナの間は持ち帰りとしていたが、2023年夏以降は会食とし、家族での利用も定着してきた。また、ひとり親家庭向けのパントリーを年4回実施し、毎回50家庭が利用しており、その際、学習会などの案内を行い、実際の利用につながっている。その他にも、日本財団からの体験支援助成金や、民間団体の助成金等を利用したバスツアーなどイベントを通じて、子どもたちに様々な体験や学びの場を提供している。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

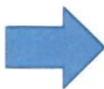
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

【目標】

- ・2024年3月31日までにの一日平均利用児童数を15名にする
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に20回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	463	文字数チェック	OK
<p>・一日平均利用児童数を15名にする 居場所や学習会、子ども食堂、各種イベント等により、1日当たり14.5人で概ね目標を達成している。 チラシ配布とともに、SNSを通じて、特にLINE公式アカウントによる情報発信を行い、登録促進を呼び掛けている。</p> <p>・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供 市内大学生(居場所・学習会)や地域(主に調理など)のボランティアに活動を支えてもらっている。また、行政(萩市担当課、教育委員会)や市社会福祉協議会、関係団体等による運営サポート協議会を年3回開催し、情報共有・意見交換を行うなど、運営への協力をいただいている。また、子ども食堂の開催により、多世代の交流機会を提供している。</p> <p>・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に20回実施する 地元高校生による企画や、市食生活推進協議会の協力による親子クッキング教室、環境に関するワークショップや野外活動、下関市の水族館へのバスツアーなど子ども向けのイベントを18回実施した。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

<p>コミュニティモデルとして、特に対象を限定せず、地元小中学校(小学校4校、中学校2校)に毎月、「通信」として利用案内を配布(約2,000枚)しており、開所して1年9か月が経過して、少しずつ、認知されるとともに、近隣の子ども関係の施設等との連携で、子どもの新しい利用者も増えてきている。特に、今年度の夏休みなどは「お腹がすいた」などと言う子どもが増えており、子どもたちに「ごはんが食べられるところ」として知られ、気軽に来られるようになったことはこれまでとは違う点であり、今後もしっかりと受け入れていきたいと考えている。ひとり親家庭などへの呼びかけについても、年4回実施したフードパントリーでは、実際に会場に来てもらうことで親にも安心してもらうとともに、チラシを渡して声掛けすることで、家庭のことも聞きながら、利用を呼び掛けることができた。実際に、フードパントリーをきっかけに学習会に来始めた中学3年生は受験勉強を行い、希望校に合格することができた。</p> <p>また今年度は体験支援の助成金などにより、バスツアーを実施した結果、子どもたちとボランティアがいつもの拠点内とは違う関わりが増え、とても親しくなるなど、その後の関係づくりに効果があった。</p>

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

<p>萩市内の中心に位置し、市内では大きい小学校に隣接するなど、子どもたちにとって利用しやすい立地にはあるものの、学童保育などもあり、毎日、多くの利用とまではいかないが、徐々に定着し、機能を発揮しつつあると考えているが、開所以来、火曜から金曜まで11時から19時までの開館時間で、夏休み等を除き、平日の昼は一部の子どものみの利用は少ない。そこで、萩市教育委員会とも相談し、最近、増えている不登校児について、特にひとり親家庭などで子どもが学校に行かない場合、親の就労等に影響があることもあり、何より子どもの居場所の選択肢の一つとして、当拠点が活用できないかと検討している。</p> <p>また、少し離れたところから、親の送迎が難しく、利用できない子どもたちへの送迎に関しても、3月末に所領が到着したことから、今後、希望に応じることができるようになったので、利用対象となる子どもたちの地域がこれまで広がる見込み。</p> <p>3年目を迎えて、子どもたちの利用への呼びかけと様々な体験メニューを続けていく一方で、ひとり親家庭など困難を抱える子どもたちがより多く利用できるよう萩市子育て支援課や主任児童委員など関係者との連携を強めていくこととしている。</p>

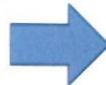
5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書 ・車両(写真等)

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書 ・車両(写真等)
チラシ「通信」毎月2,000枚を近隣の小中学校に配布



(3)未作成となった要因

特にありません

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください↓

https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2022/03/gra_gui_32.pdf
(なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。

https://nippon.zaidan.info/nf_lib/nf_libServlet/nf_lib1050?np=1019&jigyo_id=0000098656

2024年度 収支計算書

2023年4月1日から 2024年3月31日まで

団体名: 特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク

(単位:%)

事業名: 山口県萩市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営と車両整備(2年目)

事業ID: 2023004294

契約書(記3)に記載の補助率 100

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	10,900,000	10,900,000	10,900,000	0	0
② 自己負担	1,090,000	1,162,218	1,162,218		
③ 収入合計	11,990,000	12,062,218	12,062,218	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
諸謝金	1,680,000	1,536,950	1,536,950		
旅費交通費	60,000	55,295	55,295		
食材費	264,000	219,399	219,399		
印刷製本費	28,000	33,614	33,614		
消耗品・什器費	120,000	119,984	119,984		
水道光熱費	240,000	193,880	193,880		
保険料	156,000	67,980	67,980		
雑費	36,000	85,905	85,905		振込手数料、諸会費、租税公課
備品費	50,000	0	0		
通信運搬費		66,088	66,088		携帯電話
人件費	4,860,000	5,069,313	5,069,313		
賃借料	777,600	782,520	782,520		家賃等(対象外経費)
車両購入費	3,715,000	3,831,290	3,612,100	219,190	任意保険料 ※一部対象外
支出合計(端数調整前)	11,986,600				
端数調整欄	3,400				
④ 支出合計(端数調整後)	11,990,000	12,062,218	11,843,028	219,190	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

注意事項

※契約書右下に『協力援助』と記載がある事業については、5万円以上の領収書のコピーを(領収書番号を記載の上)貼付してください。

※領収書番号は本フォームの補足説明・備考欄にもご記載ください。

※費目は契約時提出の収支予算書とそろえてご記載ください(団体で通常使用しているものをそのままお使いください)。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生

無し

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力の間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計=決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計-助成金返還見込額=支出済額(z)+未払額④支出合計	OK

セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

- ① (収入の部)の予算額(A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
- ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と(支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
- ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。